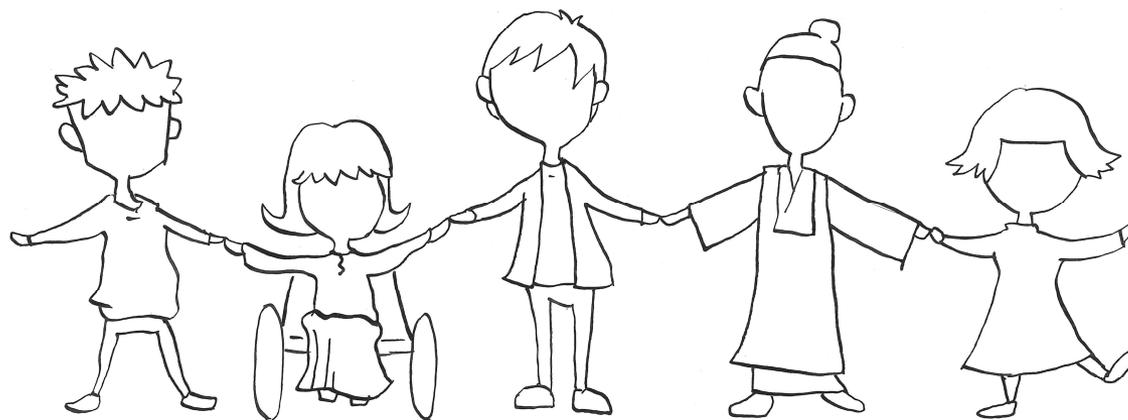


真庭市共生社会推進 + dX アクションプラン



「みんなの生活を応援する」市役所を目指します

**令和4(2022)年4月
真庭市**

項 目

- 1 はじめに
- 2 アクションプラン期間
- 3 アクションプランについて
- 4 アクションプランの構成
- 5 アクションプラン
 - (1) 真庭市役所全体で取り組むこと
 - (2) 各部署で取り組むこと

1 はじめに

「みんなの生活を応援する」市役所を目指します

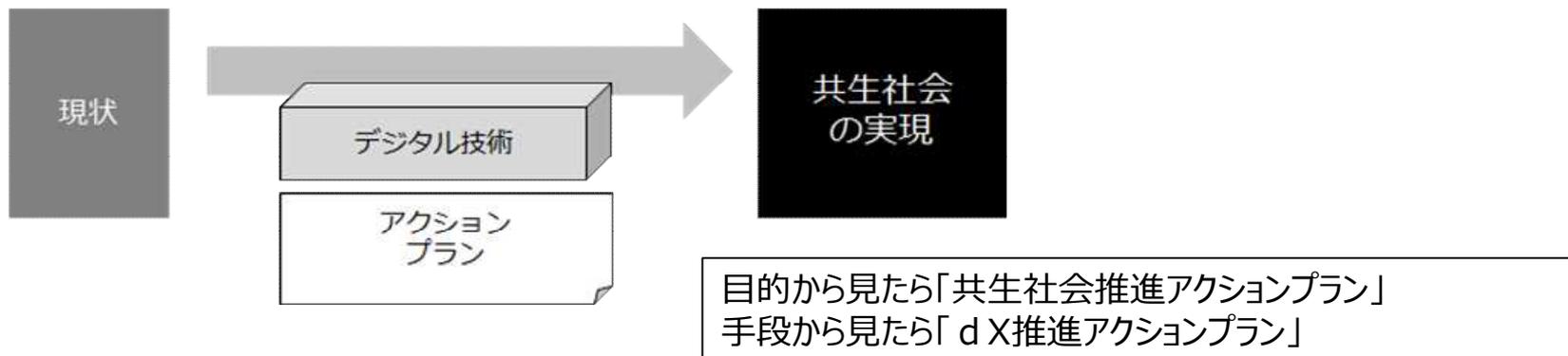
令和3年3月に、真庭市共生社会推進基本方針と真庭市 dX戦略を策定しました。

真庭市共生社会推進基本方針では、「だれ一人取り残すことなく、すべての人の基本的人権を尊重し、平和の内に生存する権利を保障する」共生社会実現が、真庭市のすべての施策の目的であることを宣言しました。

真庭市 dX（デジタルトランスフォーメーション）戦略では、共生社会実現を具体的に進める手段として、デジタル技術も活用し、社会制度の変革を進める方向性を示しました。

共生社会を進めるため、実施しているすべての施策と事業について、足りていないものや実施方法等を見直しました。同時に、デジタル技術を活用することで、新たに組み組めることやより実効的な手法を採用することについても検討し、これから真庭市が取り組むべき施策と事業について取りまとめました。

だれもが自分らしく生活できるまちを目指し、本アクションプランを策定します。



2 アクションプラン期間

令和4年度（2022年度）～令和8年度（2026年度） 5年間

3 アクションプランについて

共生社会実現する市役所となるためには、すべての政策・施策、事務のやり方を、「**共生の理念**」に照らして**絶えず点検**しながら、**職員の意識を変えていく**ことが最も重要だと考えています。

本アクションプランは、その点検の結果として、**「変えていくこと」「続けていくこと」「新たに始めること」「やめること」**を具体的な取組みとしてまとめるものです。

共生社会推進は、社会の進展に合わせて意識の変容が進み、見えなかった課題が表出したり、新たな課題が生まれたりし、それを一つ一つ解決するもので、意識しながら続けていく取組みです。

このため、本プランでは、**数値目標や達成目標は設定せず**、取組事業の実施状況を毎年確認します。また、取組事業の追加や修正を毎年行います。

4 アクションプランの構成

本アクションプランは、以下の構成になっています。

(1) 真庭市役所全体で取り組むこと

すべての部署の関連するすべての業務で取り組みます。

(2) 各部署で取り組むこと

各部署が施策や事業を見直ししながら、取り組んでいきます。

5 アクションプラン

(1) 真庭市役所全体で取り組むこと

以下の4つは、すべての部局や様々な業務に関連することとして、市役所全体で取り組みます。

① 手続きやすく相談しやすい窓口

② 利用しやすい施設

③ 参加しやすい会議・イベント

④ わかりやすい資料・情報発信

「共生の理念」に基づき、以下のキーワードで取り組みます。

共生の理念 (基本方針)

キーワード

誰一人
取り残さない

だれでも

障がい、性別、言語、国籍、性自認、異文化、年齢などによる不利益がないようにします。

お互いを
認め合う

わかりやすく
使いやすく

それぞれに違いを認め、わかりやすく、使いやすいように配慮します。

地域社会では誰もが
役割がある

いつでも
どこでも

家庭や地域での自分の役割を果たせるように、様々な生活の状況やライフスタイルを考慮します。



① 手続しやすく相談しやすい窓口

キーワード	取組みの概要	具体的な取組み・手段
だれでも	窓口で筆談ができるようにします やさしい日本語で説明します 多言語に対応できるように努めます	ホワイトボード等の窓口への設置 コミュニケーション支援ツールの活用(多言語翻訳機、音声入力等) 職員等による手話通訳の実施
わかりやすく 使いやすく	窓口などでの対面業務を充実します 何度でも説明します 手続きをシンプルにします 相談のたらい回しにならないようにします 相談窓口をわかりやすく表示します	市役所相談窓口の充実 (包括的相談支援体制) ピクトグラムなどによる窓口の表示の工夫 オンライン相談窓口の設置 データ連携による生活支援の充実 振興局などにオンライン相談ブースの設置
いつでも どこでも	24時間、オンラインで手続きや相談ができるようにします	オンライン申請の導入 SNSやAIチャットを活用した対話型相談システムの導入 キャッシュレス決済の導入

誰ひとり
取り残さない



いつでも・どこでも
スマホ(PC)で
手続きができる!

システム間の
データ連携

RPA

電子決済

A person is shown at a service counter with a sign that says "窓口" (counter). There are question marks above them, indicating a problem or inquiry.

一人ひとりに
合った窓口対応

Two people are sitting at a table, talking. There are question marks above them, indicating a discussion or consultation.

市民と職員が
一緒に話を考える

A person is walking a dog. There are question marks above them, indicating a problem or inquiry.

困りと悩みに
気づき解決する

②利用しやすい施設

キーワード

取組みの概要

具体的な取組み・手段

だれでも

施設のバリアフリー化を図ります
施設・設備のレイアウトに配慮します
ユニバーサルトイレを設置します
施設内の移動の支援をします

多機能トイレの設置
自動ドア、エレベーターの設置
当事者の意見の反映

わかりやすく
使いやすく

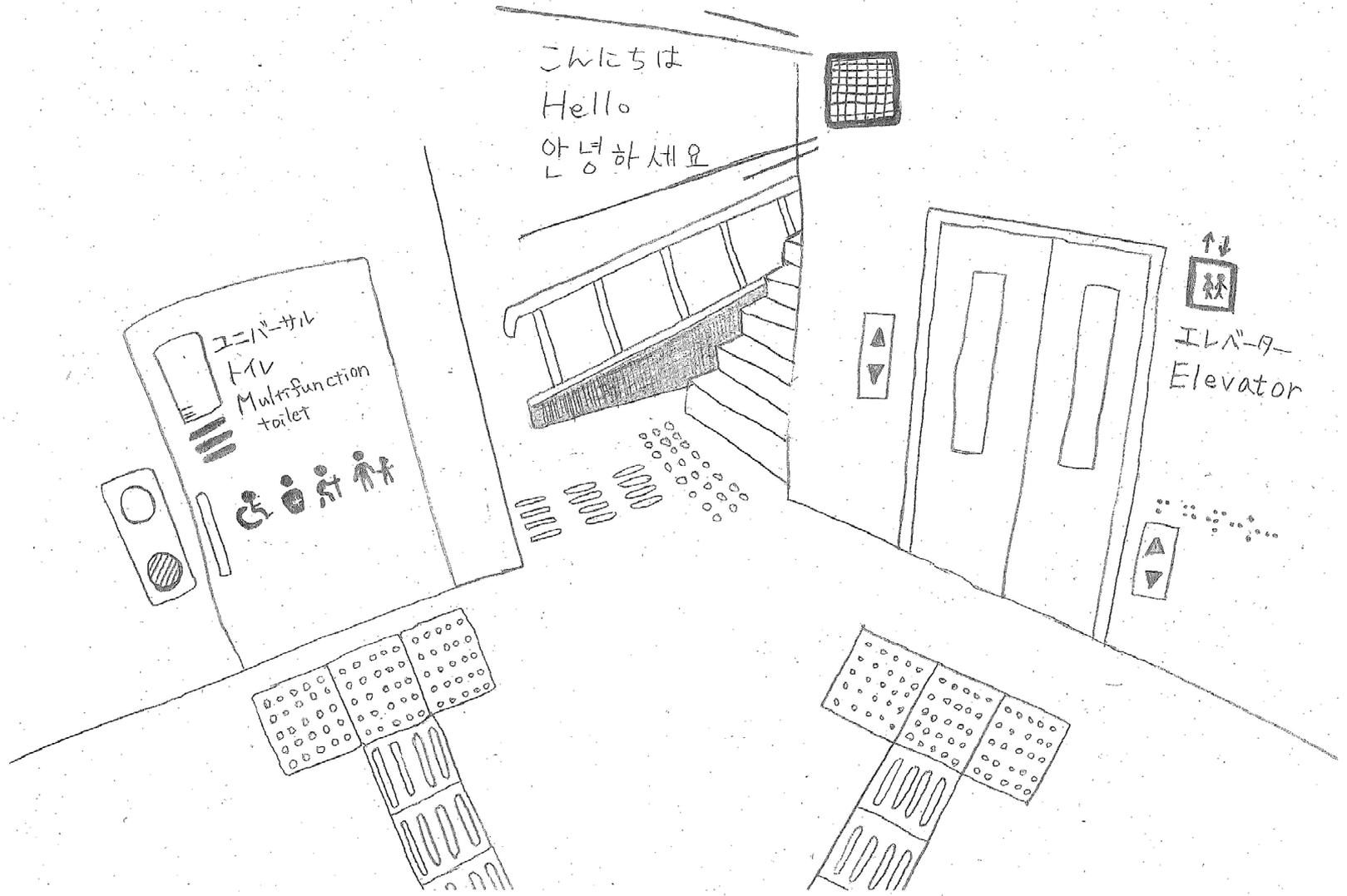
施設の案内をわかりやすく表示します
(大きな字、ピクトグラム、ユニバーサルカラー、
導線表示など)
使い方や注意事項をわかりやすく表示します
音声で案内します
多言語で案内を表示します

電子掲示板の活用
音声案内機の活用
多言語コミュニケーションツールの活用

いつでも
どこでも

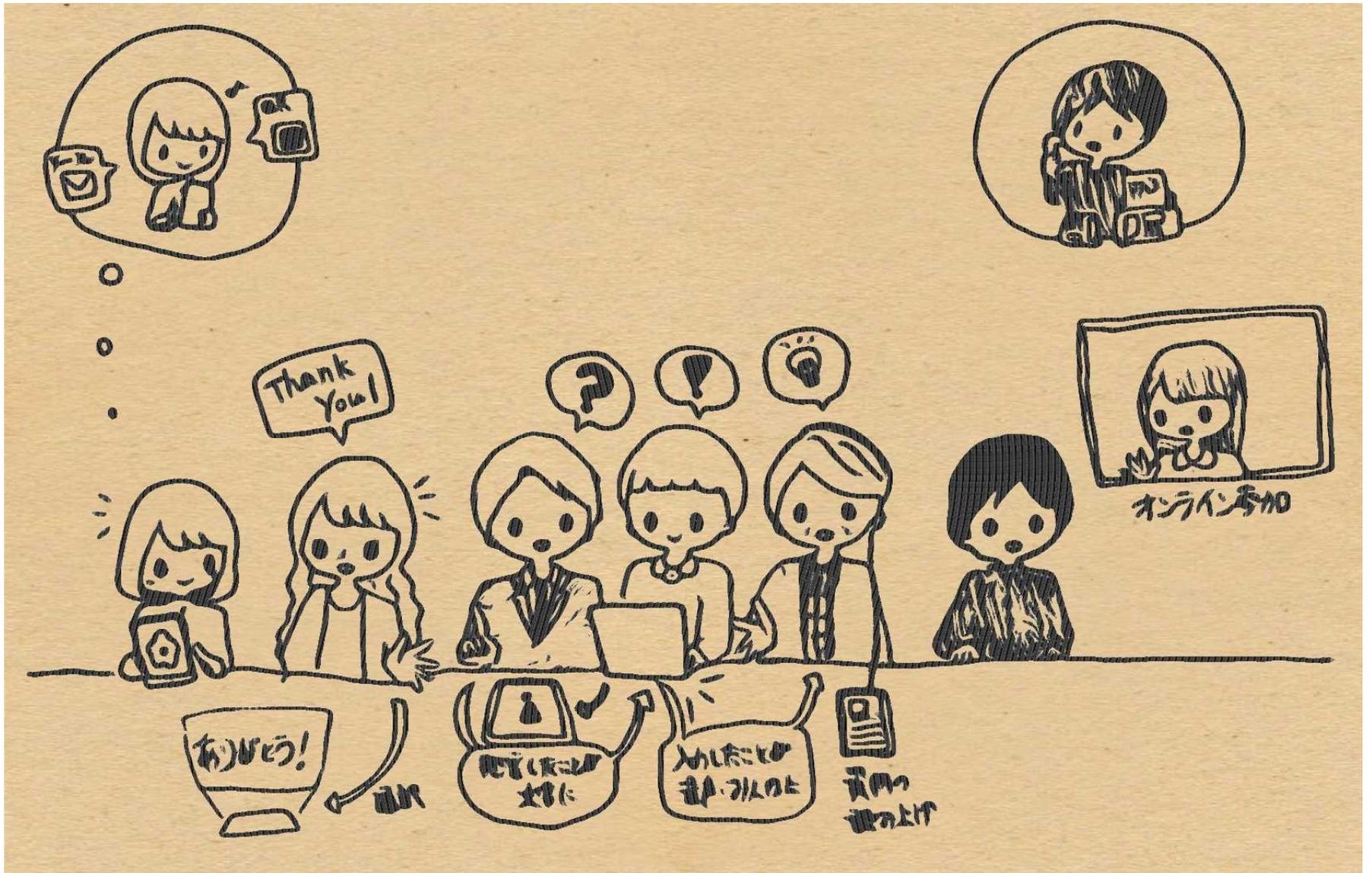
施設・設備をユニバーサル化します
環境負荷の少ない施設・設備にします

公共施設のユニバーサル化の推進
施設のユニバーサル化の情報提供・支援
環境に負荷の少ない施設・設備の導入推進



③参加しやすい会議・イベント

キーワード	取組みの概要	具体的な取組み・手段
だれでも	筆談で会議に参加できるようにします 手話通訳や要約筆記を配置します やさしい日本語で説明します 多言語で対応できるようにします 託児サービスを実施します	コミュニケーション支援ツールの活用(多言語翻訳機、音声入力等) 手話通訳、要約筆記の実施 託児サービスの実施 音声入力ツールの活用
わかりやすく 使いやすく	オンラインで参加できる会議やイベントを開催します 会場で移動やコミュニケーションの支援をします 表示や資料をわかりやすくします	公共施設のオンライン会議参加設備の設置(市民用) 会議資料用タブレットの活用 会議資料のユニバーサル化
いつでも どこでも	電話、ファックス、メールなど多様な参加申し込みができるようにします 講演・講座などをオンライン・オンデマンド配信します 環境負荷の少ないイベント・会議を開催します	オンライン申込、電子申請の活用 電話、ファックスの活用 公共施設でのWi-Fi設備の設置 環境負荷の少ないイベント・会議の実施 会議資料の電子化



④わかりやすい資料・情報発信

キーワード

取組みの概要

具体的な取組み・手段

だれでも

多言語に対応できるように努めます
資料を音声化します
ユニバーサルカラーやユニバーサルフォントを使います

多言語翻訳ツールの活用
音声化ツールの活用
カラーチェックツール・ユニバーサルフォントの活用

わかりやすく
使いやすく

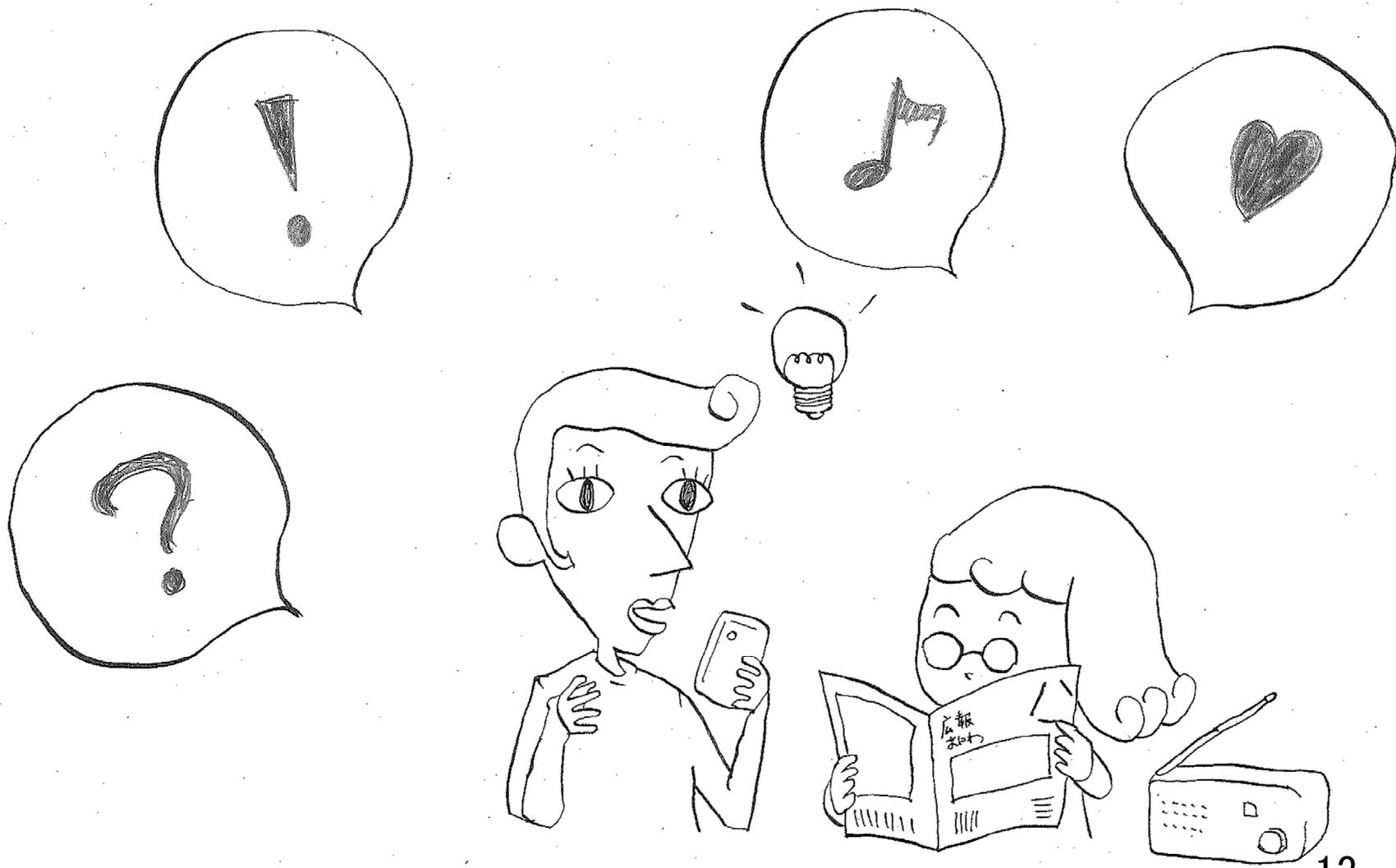
やさしい日本語で説明します
電話、ファックス、メールアドレスなど多様な問い合わせ方法を明記します
イラストや動画等による説明を充実させます

やさしい日本語の研修の実施
問い合わせ対応の充実

いつでも
どこでも

広報紙、告知放送、ホームページ等多様な媒体で情報発信します
市政に関する情報をオンラインでも提供します
図書館で市政情報が閲覧できるようにします

資料の電子化
ホームページの充実
情報共有ツールの活用
行政情報データベースの推進
図書館の充実



(2) 各部署で取り組むこと

共生社会実現に向けて、市役所の各課で実施している事業を「変えていくこと」「続けていくこと」「新たに始めること」「やめること」の視点で見直しました。その結果を各部署で取り組む事業として取りまとめました。

<表の見方>

番号	課	取り組む分野	事業名	事業内容	概要	dX	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
1	危機管理課	社会の制度	高齢者の福祉	高齢者の生活支援計画の策定（インクルーシブ設計）	高齢者や、障害のある方等の必要な生活支援を目的とした生活計画の策定	地域 dX	●	●	●	●	●
2	危機管理課	社会の制度	高齢者の福祉	コミュニティセンター等の活用	高齢者福祉や地域内での暮らしの課題を顕微鏡や顕微鏡を用いた見直しや、高齢者の暮らしの改善に向けた取り組み	地域 dX	●	●	●	●	●
3	危機管理課	社会の制度	高齢者の福祉	高齢者の生活支援計画の策定	高齢者の生活支援計画（生活支援計画）を策定し、高齢者の生活支援計画の実現に向けて必要な施策の策定、実施に向けた取り組み	地域 dX	○	●	●	●	●
4	危機管理課	社会の制度	高齢者の福祉	高齢者の生活支援計画の策定	高齢者の生活支援計画（生活支援計画）を策定し、高齢者の生活支援計画の実現に向けて必要な施策の策定、実施に向けた取り組み	地域 dX	○	●	●	●	●
5	危機管理課	社会の制度	高齢者の福祉	高齢者の生活支援計画の策定	高齢者の生活支援計画（生活支援計画）を策定し、高齢者の生活支援計画の実現に向けて必要な施策の策定、実施に向けた取り組み	地域 dX	○	○	○	●	●

①

②

③

① 共生社会推進基本方針の4つの観点で分類しています。

「人の心」「人の行動」「社会の制度」「社会基盤」

② dX戦略の3つdXで分類しています。

「地域dX」「経済dX」「行政dX」

③ 取組の予定を記載しています。

「● 実施」「○ 準備・検討」

	行政 dX	地域 dX	経済 dX	計
人の心	5	33	0	38
人の行動	13	24	1	38
社会の制度	44	36	11	91
社会基盤	18	20	11	49
計	80	113	23	216

共生社会+ d X推進アクションプラン 事業一覧

● 実施
○ 準備・検討

番号	課	取組み分野	事業名	事業内容	概要	d X	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
1	危機管理課	社会の制度	包摂的な防災	包摂的な防災計画の反映（インクルーシブ防災）	障がい者や、高齢者を含むあらゆる人を取り残さないことを基本とした防災計画の策定	地域 d X	●	●	●	●	●
2	危機管理課	社会の制度	包摂的な防災	コミュニケーションボードの活用	避難所標識や避難所内での案内の多言語表示や相談窓口を設けるなど外国人や障害のある方のニーズに応じた対応	地域 d X	●	●	●	●	●
3	危機管理課	社会の制度	包摂的な防災	外国人市民への防災意識の啓発	私の避難プラン（個別避難計画）を利用した、地域での防災訓練の推進 防災対策について多言語化に取り組み、外国人に対して防災知識の普及啓発 機会を捉えて外国人市民に対して防災学習や防災訓練の実施	地域 d X	○	●段階的に実施	●段階的に実施	●段階的に実施	●段階的に実施
4	危機管理課	社会の制度	包摂的な防災	災害時に活躍できる人材の育成 脆弱化した地域コミュニティの意識向上	自主防災組織、自治会、社会福祉協議会、関係課などと連携して災害時に活躍できるリーダーや、ボランティアなどの人材を育成 地域の負担にならず、多様な住民＝当事者らが自ら企画し、主体的に参加するよう防災活動の推進	地域 d X	○	○ ●段階的に実施	●段階的に実施	●段階的に実施	●段階的に実施
5	危機管理課	社会の制度	包摂的な防災	配慮が必要な方の避難計画の作成推進	自主防災組織、自治会、民生委員、ケアマネージャーなどと連携して個別計画（私の避難プラン）を作成	地域 d X	●	●	●	●	●
6	危機管理課	社会の制度	情報発信の充実	災害時に健常者は当然として、要配慮者へも確実な情報の内容の伝達と伝達方法の改善	わかりやすく伝わりやすいとされている、やさしい日本語の活用 LINEやキャリアメール、電話などによる多様な避難情報発信	地域 d X	●	●	●	●	●
7	総合政策課	人の心	SDG s に取り組む人の育成	持続可能な社会づくりに取り組む人材の育成	SDG s 活動団体との連携による様々な研修事業等を実施することにより、持続可能な社会づくりに取り組む人材を育成します。また、学校と地域が連携を図りながらE S Dの視点を活かした学習を進めます。様々な福祉サービスを提供している人材を対象とした研修やネットワークの構築など、支援の質の向上を図り、市民一人一人の困難に寄り添うことができる教育、人材育成等の各種支援を実施する。	地域 d X	●	●	●	●	●
8	総合政策課	社会の制度	共生社会推進事業	共生社会実現の視点を取り入れた要望書作成	要望内容等を掲示板等で情報共有し職員への周知 要望案件調査の際に、共生社会基本理念に沿った検討視点への配慮を補足	行政 d X	●	●	●	●	●
9	総合政策課	人の心	共生社会推進事業	共生社会アクションプラン策定 職員に対する意識醸成活動	すべての事業を共生の視点で見直す 共生社会関連会議等資料へユニバーサルフォントの活用及び色彩配慮の検討 共生社会関連イベント開催時の手話等実施や申込方法の選択増を検討 HP等広報における多言語配慮及び色彩配慮の検討 共生社会実現へ向けて取組状況（市役所、市民活動など）を見える化（HP、広報など）する仕組みを検討	行政 d X	●	●	●	●	●
10	総合政策課	社会の制度	共生社会実現に向けた連携強化	共生社会実現に向けた連携事業	他市町と連携して共生社会実現に向けた事業の検討	行政 d X	○	●段階的に実施	●段階的に実施	●段階的に実施	●段階的に実施
11	総合政策課	社会の制度	アウトソーシングの推進	共生社会の優先枠の検討	共生社会実現のためのアウトソーシング先の優先枠の設定	経済 d X	○	○	●段階的に実施	●段階的に実施	●
12	総合政策課	社会の制度	指定管理者制度	モニタリングの評価項目の見直し	障がい者雇用や女性登用等の加点項目の追加 広報活動でのユニバーサル化の加点項目の追加	行政 d X	○	●段階的に実施	●段階的に実施	●段階的に実施	●段階的に実施
13	総合政策課	社会の制度	第三セクター経営方針の見直し	経営見直しの項目の検討	経営状況での障がい者雇用や女性登用の報告項目追加	行政 d X	○	○	●段階的に実施	●段階的に実施	●
14	総合政策課	社会の制度	組織機構改革	多様な働き方の推進	介護休暇、時短勤務、産前産後育児休暇などとテレワークを組み合わせた働き方の検討	行政 d X	○	●段階的に実施	●段階的に実施	●段階的に実施	●段階的に実施
15	総合政策課	社会の制度	定員適正化計画の推進	障がい者等に関する記載 計画書のユニバーサル化	共生社会の推進主体として、多様な就業環境整備し、市民生活を支える職員数を確保します。	行政 d X	●	●	●	●	●
16	総合政策課	社会の制度	市民ポイント公金キャッシュレス基盤の整備	市民ポイントキャッシュレス決済基盤の整備	市民との新しい関係づくりと公金納付のキャッシュレス化を図るため、市民ポイントキャッシュレス決済基盤の整備を推進します。	経済 d X	○	○	●	●	●
17	総合政策課	社会の制度	行政情報データベースの整備	行政情報データベースの整備	市民との共有財産として行政データベースを構築し、EBPMとしての政策立案や施策評価に生かすとともに、市民の協働や市政参画を促します。	行政 d X	●	●	●	●	●

共生社会+ d X推進アクションプラン 事業一覧

● 実施
○ 準備・検討

番号	課	取組み分野	事業名	事業内容	概要	d X	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
18	総合政策課	社会の制度	dXプラットフォーム整備	真庭市dXプラットフォーム整備	dXによる様々な地域課題解決を推進するプラットフォーム「真庭市dXプラットフォーム」を整備する	行政 d X	●	●	●	●	●
19	交流定住推進課	人の行動	共生の地域社会づくり	地域活動（縦軸）と市民活動（横軸）との支援及び連携促進	市民、市民団体との連携及びネットワークづくりの推進、市民、市民団体への支援制度の整備など、共生社会推進に向けた取組みを行う市民及び事業者との連携並びに支援を行います。	地域 d X	●	●	●	●	●
20	交流定住推進課	人の行動	共生の地域社会づくり	地域活動（縦軸）と市民活動（横軸）との支援及び連携促進	自治会、民生委員児童委員、消防団、学校、保育園、幼稚園、郵便局、企業やコンビニなど、地域で活動する団体がそれぞれ、また連携して、地域の生活課題の発見や対応（地域包括ケアシステム）ができるよう支援します。	地域 d X	●	●	●	●	●
21	交流定住推進課	社会基盤	バリアフリー化の整備支援	集会所施設のバリアフリー化支援	集会所のバリアフリー化を促進するため、施設改修に係る補助金により支援する	地域 d X	○	○	●	●	●
22	秘書広報課	人の行動	多様な手段による広報紙の提供	伝わりやすい情報発信	障がいのある人へ情報を届けるため、冊子配布以外の方法を検討し、情報発信の多様化を検討します。 広報紙の音声テキストデータの提供 単色化したPDFデータの提供	行政 d X	○	●	●	●	●
23	秘書広報課	人の行動	読みやすい広報紙の作成	広報紙のユニバーサルデザイン化	市民に正確かつ分かりやすい情報を伝えるために、ユニバーサルデザインを意識した広報紙を作成します。	行政 d X	○	○	●	●	●
24	秘書広報課	人の行動	告知放送の見える化	伝わりやすい情報発信	障がいのある人へ情報を届けるため、音声告知以外の方法を検討し、情報発信の多様化を検討します。 放送内容の見える化	地域 d X	○	●	●	●	●
25	秘書広報課	人の行動	情報化計画推進事業	真庭市 d X戦略計画の取組推進	d Xの推進はデジタル技術も活用することで、人々の様々な能力を引き出せる、生活を支える、共生社会推進のための一つの重要な手段であるため、各部署と連携しながら積極的に取り組みを進めていきます。	行政 d X	●	●	●	●	●
26	秘書広報課	社会基盤	情報セキュリティ対策事業	情報セキュリティの強化	誰もが安心して相談できるように保有する個人情報を適切に管理するために継続的にネットワークシステムの情報セキュリティ強化のほか扱う職員のセキュリティ意識の向上を図ります。	行政 d X	●	●	●	●	●
27	秘書広報課	人の心	情報化計画推進事業	職員の意識改革、リテラシー向上	d Xやデジタル活用推進のため、事務改善に対する職員の意識改革やデジタルリテラシー向上に取り組みます。	行政 d X	●	●	●	●	●
28	秘書広報課	人の行動	情報システム導入更新事業	継続的なWebサイトの見直し	障がいの有無にかかわらず誰もが必要な情報を入力できる環境のために的確な情報アクセシビリティチェックを実施します。 継続的にWebサイトのデザインの見直しを行い、誰もが使いやすいWebサイトにしていきます。	地域 d X	●	●	●	●	●
29	秘書広報課	社会基盤	情報システム導入更新事業	G I S活用	広大な面積の行政区画において、効率的効果的に行政執行を行うため、GISの多方面での活用を進め、インフラ等を適切に管理するため等に地図を活用したデータ基盤を構築します。	行政 d X	●インフラ情報統合	●段階的にデータ追加実施	●段階的にデータ追加実施	●段階的にデータ追加実施	●段階的にデータ追加実施
30	秘書広報課	社会基盤	情報システム導入更新事業	ネットワークシステムの見直し	市民とのコミュニケーション活性化、サービス向上に主眼を置いて、システム利用環境を見直します。また、システム構築にあたっては利用者の使いやすさ向上に努めます。	地域 d X	○	●段階的に実施	●段階的に実施	●段階的に実施	●段階的に実施
31	秘書広報課	社会の制度	情報化計画推進事業	手続のオンライン活用	いつでも、どこでも、簡単に完結できるよう各部署と連携して行政手続のオンライン化に取り組むとともにワンストップ化の取組を進め、市民の手続のための移動にかかる負担を軽減します。	行政 d X	○ 一部オンライン手続●	●段階的に実施	●段階的に実施	●段階的に実施	●段階的に実施
32	秘書広報課	社会の制度	情報化計画推進事業	プッシュ型行政サービスの検討	本人のアクションを待つことなく必要とする人に必要な情報をしっかりと届けるために必要な行政サービスがプッシュ型で提供できる仕組みを関係部署と連携して、検討します。	行政 d X	○	○	○	●段階的に実施	●段階的に実施
33	秘書広報課	社会の制度	情報化計画推進事業	利用者本位の窓口改革	窓口等における外国人等への円滑な対応を図るために、窓口関係部署と連携して、多様なコミュニケーション手段の仕組みを検討します。	行政 d X	○	○	●段階的に実施	●段階的に実施	●
34	秘書広報課	社会の制度	情報化計画推進事業	利用者本位の窓口改革	窓口関係部署と連携して、申請書の作成など窓口での手続を簡素化し、手続に係る手間を減らします。また、相談業務にはオンラインも活用した多様なアクセスの確保と複合的な課題やさまざまなニーズに対応するため、関係部署と連携して、対面での相談体制を充実します。	行政 d X	○	○ ●段階的に実施	●段階的に実施	●段階的に実施	●

共生社会+ d X推進アクションプラン 事業一覧

● 実施
○ 準備・検討

番号	課	取組み分野	事業名	事業内容	概要	d X	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
35	秘書広報課	人の行動	情報発信にユニバーサル化	受け手の特性や受け取る方法を考慮した情報の発信	誰もが等しく情報をやりとりでき、安全安心に生活するため、情報弱者がなくなり、誰もが等しく情報を得られる共生社会を実現します。困難に直面したときに必要な支援を受けるため、また、多様な人々が様々な考えをもって暮らしていることを理解するために、ICTを含めて、多様な媒体による情報発信を進め、あらゆる人が必要な情報を得られやすい環境づくりを進めます。	地域 d X	○ ●段階的に実施	●段階的に実施	●段階的に実施	●	●
36	秘書広報課	社会基盤	情報システム導入更新事業	デジタルガバメントの推進（行政システムの標準化、統一化、情報システム再構築、デジタル技術の活用）	標準システム使用担当課と連携し、国の策定する標準仕様に準拠したシステムへの移行、デジタル技術も活用したバックオフィスの改革を進めることで、職員が市民と対話を増やす環境を創出します。	行政 d X	○	○	●段階的に実施	●段階的に実施	●
37	秘書広報課	社会基盤	真庭ひかりネットワーク改修等事業	地域情報化施設の維持管理	生活の質の向上に繋がる情報通信基盤の適切な維持を図ります。	地域 d X	●	●	●	●	●
38	秘書広報課	人の行動	真庭ひかりネットワーク改修等事業	デジタルデバイス対策、住民のデジタル活用促進	スマートフォン教室、相談会を市内の民間事業所と連携して取り組みます。	地域 d X	●	●	●	●	●
39	秘書広報課	社会の制度	真庭ひかりネットワーク改修等事業	デジタルデバイス対策	告知放送内容を音声以外の方法でも利用できる手法を検討します。	地域 d X	○	●	●	●	●
40	秘書広報課	社会基盤	情報システム導入更新事業	マイナポータル等からマイナンバーカードを活用した行政手続促進、マイナンバーカード普及	マイナンバーカードの利用による利便性向上に向けた環境整備とともに、関係課と連携し、カード利用による行政サービスの至便性向上を図ります	行政 d X	●環境整備	●手続の段階的追加	●手続の段階的追加	●手続の段階的追加	●手続の段階的追加
41	総務課	社会の制度	高齢者の活躍推進	シルバー人材センターに委託	作業可能なものをシルバー人材センターに委託し、高齢者の活躍の場を創出している	経済 d X	●	●	●	●	●
42	総務課	社会基盤	電子決裁システムの構築、公文書の電子管理化	電子決裁システムの構築、公文書の電子管理化	電子決裁システムを構築し、テレワーク環境など、どこでも仕事ができる体制作りを整えていく。	行政 d X	○	○	●	●	●
43	総務課	社会の制度	障がい者の就業促進	庁舎外清掃を事業所に委託	作業可能なものを事業所に委託し、障がい者の活躍の場を創出している	経済 d X	○	●	●	●	●
44	総務課	社会の制度	行政手続きのオンライン化のための基礎調査	オンライン化に向けた基礎資料を作成するための調査事業	庁舎に来ることが困難な方等のために、行政手続きのオンライン化を進めていくための既存手続きの洗い出しを行い、優先度の高いものからオンライン化を進めていくための例規整備の基礎資料とするもの。	行政 d X	○	●	●	●	●
45	総務課	社会の制度	例規集のユニバーサル化	例規の点字化、音声化 例規の解説書（逐条解説の公開）翻訳化	例規の点字化、音声化 例規の解説書（逐条解説の公開）翻訳化	行政 d X	○	●	●	●	●
46	総務課	社会の制度	真庭市公告式条例の改正	HPへの掲載により誰でも確認できる仕組みを構築	電子決裁システムの構築にあわせて、掲示場を庁舎だけでなく、HPも追加することで、より多くの方に公布状況の確認を可能とする。（条例改正）	行政 d X	○	○	●	●	●
47	総務課	社会の制度	開示請求資料の電子送付化	開示請求資料の電子送付化	公文書の電子管理にあわせて、現在、紙での開示が原則である開示請求資料を電子的に送付していくもの（条例改正検討必要）	行政 d X	○	○	●	●	●
48	総務課	人の心	後援事業の共生社会推進	後援決定の際に共生社会の浸透を訴える	後援決定の際に共生社会の推進に関することを記載することでより多くの団体への浸透を図る。	地域 d X	○	●段階的に実施	●	●	●
49	総務課	社会の制度	障がい者雇用の促進	市役所での障がい者雇用の促進	誰でも働ける場を創出する	行政 d X	●	●	●	●	●
50	総務課	社会の制度	就業環境の整備	市役所職員の配慮が特に必要な方への対応	誰でも働きやすい環境を整え、生涯活躍する	行政 d X	○	●段階的に実施	●	●	●
51	総務課	社会の制度	社会福祉協議会との人事交流	社会福祉協議会との人事交流	社会福祉協議会との人事交流を継続し、現場のニーズを把握していく。	行政 d X	●	●	●	●	●
52	総務課	社会の制度	職員のテレワーク環境整備（テレワークパソコンの整備）	多様な働き方の推進	介護休暇、時短勤務、産前産後育児休暇などとテレワークを組み合わせた働き方の検討	行政 d X	●	●	●	●	●
53	総務課	人の心	共生社会の理念を学ぶ研修機会の創出	共生社会の理念を学ぶ研修機会の創出	共生社会の理念を学ぶ研修を実施します	行政 d X	●	●	●	●	●
54	総務課	社会の制度	各種書類の電子提出化	各種書類の電子提出化	市役所内外の各種提出書類の提出方法を見直す	行政 d X	○	○	●	●	●
55	総務課	社会の制度	ワークフロー申請の普及活用	市役所内提出書類の電子提出化	市役所内の各種提出書類の提出方法を見直す	行政 d X	●	●	●	●	●
56	総務課	社会の制度	宿日直の配慮	配慮が必要な方への柔軟な対応	誰でも働きやすい環境を整えていく	行政 d X	●	●	●	●	●
57	総務課	社会の制度	選挙制度	配慮が必要な方でも投票できる体制構築	車イス等特に配慮が必要な方でも安心して投票できる体制を整える	地域 d X	●	●	●	●	●
58	総務課	社会の制度	市役所インターンシップ受入事業	障がい者インターンシップにより門戸の拡大	障がい者のインターンシップを拡大し、市役所の障がい者雇用の推進につなげていく。	行政 d X	●	●	●	●	●
59	総務課	社会基盤	職員駐車場	配慮が必要な方への柔軟な対応	誰でも働きやすい環境を整えていく	行政 d X	○	●段階的に実施	●	●	●
60	財産活用課	社会基盤	契約書、請求書等、関係書類のユニバーサル化	契約書、請求書等、関係書類のユニバーサル化	駐車場の契約書、請求書について、ユニバーサルフォントの活用	行政 d X	●	●	●	●	●

共生社会+ d X推進アクションプラン 事業一覧

● 実施
○ 準備・検討

番号	課	取組み分野	事業名	事業内容	概要	d X	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
61	財産活用課	社会基盤	公募資料、契約書類等のユニバーサル化	公募資料、契約書類等のユニバーサル化 プロポーザルの審査項目への追加	募集要項へユニバーサルフォントの活用および色彩配慮の検討 売買契約書、交換契約書についてユニバーサルフォントの活用 HP等公募における色彩配慮の検討 貸付プロポーザルの審査項目に共生社会の視点を取り入れた項目を導入（追加）する。	行政 d X	●	●	●	●	●
62	財産活用課	社会基盤	障害者就労施設等からの物品調達の推進	障害者就労施設等からの物品調達の推進等	障害者就労施設等からの物品等の調達方針に配慮した物品等の調達 ユニバーサルデザイン製品調達の推進	行政 d X	●	●	●	●	●
63	財産活用課	社会基盤	障害者就労施設等からの物品調達の推進	障害者就労施設等からの物品調達の推進等	障害者就労施設等からの物品等の調達方針に配慮した物品等の調達 ユニバーサルデザイン製品調達の推進	行政 d X	●	●	●	●	●
64	財産活用課	社会基盤	契約書類のユニバーサル化	契約書類のユニバーサル化	申請書類、売買契約書、交換契約書についてユニバーサルフォントの活用	行政 d X	●	●	●	●	●
65	財産活用課	社会の制度	契約書類のユニバーサル化	契約書類のユニバーサル化	契約書類のユニバーサルフォントの活用	行政 d X	●	●	●	●	●
66	財産活用課	社会の制度	契約書類のユニバーサル化	契約書類のユニバーサル化	契約書類のユニバーサルフォントの活用	行政 d X	●	●	●	●	●
67	財産活用課	社会基盤	共生社会に配慮した工事設計	共生社会に配慮した工事設計審査、指導	バリアフリーに配慮した工事設計図書審査、指導	行政 d X	●	●	●	●	●
68	税務課	社会の制度	障がいを持つ方でも支障なく相談等が行えるよう、コミュニケーション手段の充実	支援が必要な方は事前に予約受付等に対応	行政 d X	行政 d X	○	●	●	●	●
69	税務課	社会の制度	納税環境の向上	スマホ納税 公表資料のユニバーサル化	スマホ納税等、移動手段に不自由される方でも、納税がしやすい環境を構築する	行政 d X	○	○	●	●	●
70	債権回収対策課	社会基盤	市税等の徴収事業	滞納処分の実施	話し合い等により共に解決に当たるが、市民負担の公平性と財源を確保するため、必要に応じて差押え等の滞納処分を実施	行政 d X	●	●	●	●	●
71	市民課	社会の制度	窓口業務のD X推進	窓口業務のD X化を検討推進し事務効率化を図る	窓口業務にd X化やデジタル活用を推進し、窓口業務の事務効率化を図る事務改善に努める。 窓口業務改革WG会議で課題を掘り起こし、その解決に取り組んで事務改善に努めます。	行政 d X	●	●	●	●	●
72	環境課	人の行動	環境負荷低減多文化共生社会の実現	ごみ出しに関する翻訳の提供	「家庭ごみ分別表」を多言語に翻訳することにより、情報格差をなくし、地域の外国人居住者へ適切な情報を提供	行政 d X	○	●	●	●	●
73	環境課	人の行動	ごみ屋敷問題の解決	一般家庭から排出される一般廃棄物（粗大ごみ等）の屋外搬出	介護保険の要介護認定等を受けており、かつ身近な方の協力を得ることが難しい世帯に対し、ごみ搬出の支援を行う	行政 d X	○	●	●	●	●
74	環境課	人の心	人と動物との調和のとれた共生社会の実現	動物愛護の効果的な推進	普及啓発、相談、助言、情報提供などにより動物の命の尊厳や人の生活環境と健康を守る	地域 d X	○	●	●	●	●
75	環境課	社会基盤	火葬場予約システム導入	火葬場の火葬予約をオンライン化する	予約システムを導入することで、手続きの効率化と業務の効率化を図る	行政 d X	○	●	●	●	●
76	環境課	人の行動	ごみ袋のユニバーサル化	ごみ袋に点字を導入する	点字を導入することで、視覚障害のある方も安心してごみ袋を使うことができる	行政 d X	●	●	●	●	●
77	くらし安全課	人の行動	防犯組織の運営	安心安全な社会形成の推進	防犯連合会等との活発な連携 防犯組織（3団体）の事業は警察単独で行われていることが多いが、積極的に運営への意見交換や行事参加を行う	地域 d X	●	●	●	●	●
78	くらし安全課	人の心	交通安全教育指導	安心安全な社会形成の推進	関係団体と連携した交通安全教室の開催 （自転車マナー教育の推進）	地域 d X	●	●	●	●	●
79	くらし安全課	人の心	交通事故防止活用	安心安全な社会形成の推進	交通事故の削減（うっかり事故の防止） サボカー導入に対する支援（市民）と公用車のサボカー導入（市）	地域 d X	●	●	●	●	●
80	くらし安全課	社会基盤	交通安全施設整備	安心安全な社会形成の推進	交通安全施設整備事業 通学路安全点検等を経てカーブミラー等の整備	地域 d X	●	●	●	●	●
81	くらし安全課	社会の制度	相談体制の整備（生活総合相談消費生活相談等）	安心安全な社会形成の推進	ウィズコロナの生活様式に対応した相談体制の整備 （チャットボットの導入運用、公式LINE等の開設）	行政 d X	●	●	●	●	●
82	くらし安全課	社会の制度	人権啓発推進	多様性を尊重する取り組みの推進 共生社会の考え方を正しく知る機会の提供、周知	パートナーシップ制度の推進（性の多様性の視点も取り入れた正しい理解と認識） 人権講演会の開催など人権啓発を通じた共生社会の意識醸成	地域 d X	●	●	●	●	●

共生社会+ d X推進アクションプラン 事業一覧

- 実施
- 準備・検討

番号	課	取組み分野	事業名	事業内容	概要	d X	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
83	くらし安全課	社会の制度	多文化共生社会の推進	多文化共生社会の推進	多様な文化を認め合う国際感覚国際理解を醸成するとともに、外国人市民への生活支援の充実や地域社会への参加促進を図り、多文化共生社会の推進に向けた意識づくりに努めます。	地域 d X	●	●	●	●	●
84	くらし安全課	人の行動	人権擁護委員	安心安全な社会形成の推進	法務局との共同相談の実施	地域 d X	●	●	●	●	●
85	くらし安全課	人の行動	青少年の健全育成	子どもたちが安心して生活し、成長できる環境の推進	青少年育成センターの運営と健全育成の推進	地域 d X	●	●	●	●	●
86	くらし安全課	社会の制度	青少年問題協議会	子どもたちが安心して生活し、成長できる環境の推進	青少年健全育成方針の検討等	地域 d X	●	●	●	●	●
87	くらし安全課	人の行動	青少年関係団体	子どもたちが安心して生活し、成長できる環境の推進	県民会議等との連携による事業の推進 他者への思いやりや自立心、自己肯定感を育む「明るい家庭づくり作文」「私の主張発表会」事業	地域 d X	●	●	●	●	●
88	くらし安全課	社会の制度	20歳の集い	安心安全な社会形成の推進	20歳の集いの開催	地域 d X	●	●	●	●	●
89	くらし安全課	人の心	男女共同参画推進	男女共同参画、女性が輝くまちづくりの推進	家庭学校職場地域のあらゆる場面において、男女共同参画をテーマとした講座、イベントを始めとする啓発事業を実施し、性の多様性の視点も取り入れた正しい理解と認識を深める機会を提供します。働きたい女性がその能力を十分に発揮できるよう、働きやすい職場環境の推進に向けた企業等への啓発や情報発信を進め、意識醸成を図るとともに地域全体にその取組を広げます。	地域 d X	○	●	●	●	●
90	くらし安全課	社会の制度	男女共同参画推進	女性への多様な就労支援の実施	働きたい女性が仕事と子育て介護等の二者択一を迫られることなく働き続け、能力を十分に発揮できるよう、キャリア形成や再就職のための支援等、女性の希望に応じた働き方の支援を行います。	経済 d X	●	●	●	●	●
91	くらし安全課	社会の制度	男女共同参画推進	多様な就労支援の取り組み	女性の働きやすい職場（復職転職）に対する事業者の理解醸成の推進	経済 d X	●	●	●	●	●
92	くらし安全課	社会の制度	DV防止の啓発推進	安心安全な社会形成の推進	緊急（一時）避難場所等の確保	地域 d X	○	●	●	●	●
93	くらし安全課	社会基盤	公共交通対策	利便性の高い公共交通ネットワークの構築	コミュニティバス「まにわくん」などの公共交通、福祉輸送など交通弱者のあし確保、さらに来訪者の円滑な移動を支える公共交通ネットワークの充実を図ります。	地域 d X	○	○	●	●	●
94	くらし安全課	社会基盤	公共交通対策	誰もが利用しやすい公共交通の検討	共助による地域のあし構築	地域 d X	●	●	●	●	●
95	くらし安全課	社会基盤	公共交通対策	公共交通利用環境の改善	低床車両やノンステップバス、UDデザインタクシー等の導入促進や、駅バス停のバリアフリー化、わかりやすい運行情報の提供等、公共交通の利用環境を改善します。	地域 d X	●	●	●	●	●
96	くらし安全課	社会基盤	公共交通対策	公共交通不便地域における新たな生活交通の導入	公共交通利用が不便な地域において、高齢者等の買い物や通院等の日常生活に必要な移動手段を確保するため、地域が主体となったデマンド型交通等の新たな生活交通の導入を推進します。	地域 d X	●	●	●	●	●
97	くらし安全課	社会基盤	コミュニティバスの運行整備	誰もが利用しやすい公共交通の検討	電子表示及び音声告知器の設置の充実 視覚及び聴覚障がい者、子どもから高齢者まで、誰にでもわかりやすく、便利な、電子表示や音声告知等の案内を全ての車両に導入(充実)する。 時刻表をはじめ、わかりやすい案内表示。 利用しやすい環境整備 低床型車両の導入や誰にでも利用しやすい施設の整備。 運賃決裁のキャッシュレス化 身体の不自由な方や誰にとっても便利で、支払作業の円滑化やウィズコロナの生活様式に対応したキャッシュレス化の導入検討。	地域 d X	●	●	●	●	●
98	スポーツ・文化振興課	社会の制度	個人番号カード事務のユニバーサル化	通知文書のユニバーサル化	ユニバーサルフォントの活用、優しい日本語の活用	行政 d X	●	●	●	●	●
99	スポーツ・文化振興課	人の行動	芸術アウトリーチ事業	児童福祉施設等と連携した芸術アウトリーチの実施	放課後デイサービス事業所等での芸術アウトリーチの実施	地域 d X	●	●	●	●	●
100	スポーツ・文化振興課	社会の制度	文化祭の開催	発表の場の紹介	文化祭等への高齢者障がいのある人の作品出品の呼びかけ	地域 d X	●	●	●	●	●
101	スポーツ・文化振興課	社会の制度	共生社会理解を促進する文化活動への支援	共生社会理解を促進する文化活動への支援	共生社会理解を促進する文化活動への補助金交付	行政 d X	●	●	●	●	●

共生社会+dX推進アクションプラン 事業一覧

● 実施
○ 準備・検討

番号	課	取組み分野	事業名	事業内容	概要	dX	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
102	スポーツ・文化振興課	人の心	現代美術展の開催	現代美術展の開催 子どもや小さい子連れのグループなどを対象とした鑑賞プログラムやワークショップなどの実施 異なった意見を認め合う対話型鑑賞プログラムの実施	共生社会実現の基礎となる、既存概念を打破する作品の展示	地域 dX	●	●	●	●	●
103	スポーツ・文化振興課	人の心	展覧品表示の多言語化	表示物の多言語化	外国人にもわかりやすい表記	地域 dX	●	●	●	●	●
104	スポーツ・文化振興課	人の心	共生社会に関する表彰	顕彰の実施	障害者の文化活動等実績がある団体などの顕彰	地域 dX	●	●	●	●	●
105	スポーツ・文化振興課	社会基盤	施設設備のユニバーサル化	施設サイン等のユニバーサル化	点字サイン、スロープ等導入、窓口での筆談対応の実施	地域 dX	○	○	○	○	○
106	スポーツ・文化振興課	社会の制度	会議資料のユニバーサル化	会議のユニバーサル化	資料のユニバーサルフォント化など	地域 dX	○	○	○	○	○
107	スポーツ・文化振興課	人の心	会議開催	会議等の昼間の開催	高齢者に配慮し、昼間に会議の開催を検討	地域 dX	●	●	●	●	●
108	スポーツ・文化振興課	社会の制度	ユニバーサルスポーツ文化事業	障がい者スポーツ文化活動の振興	障がいに対する市民の理解を促進するため、障がい者も参加できるスポーツ大会や舞台発表会を実施するなど、交流を楽しめる機会を提供します。	地域 dX	●	●	●	●	●
109	スポーツ・文化振興課	人の心	パラスポーツ普及推進事業	パラスポーツ普及推進事業	パラスポーツ選手による授業や講演会の実施 パラスポーツを含んだ「ユニバーサルスポーツ」の普及 障がい者スポーツ指導員の養成	地域 dX	●	●	●	●	●
110	スポーツ・文化振興課	社会の制度	ユニバーサルスポーツ文化事業	スポーツ文化を通じた交流促進	ユニバーサルスポーツや障がい者スポーツ大会、芸術団体等の招致により、スポーツ文化への関心を高め、健康増進や心の豊かさの涵養を図るとともに、年齢、障がい、国籍、個々の能力に関わらず交流できる場を提供します。	地域 dX	●	●	●	●	●
111	スポーツ・文化振興課	人の心	ユニバーサルスポーツ普及事業	ユニバーサルスポーツの普及活動	ユニバーサルスポーツの研修会 障がい者スポーツ指導者講習会の受講推進 ユニバーサルスポーツの周知、推進	地域 dX	●	●	●	●	●
112	スポーツ・文化振興課	人の心	障がい者スポーツ指導員講習会	障がい者スポーツ指導員の養成	市民向け障がい者スポーツ指導員（初級）講習会を開催	地域 dX	●	●	●	●	●
113	スポーツ・文化振興課	人の心	パラスポーツ普及推進事業	パラリンピアン等との交流	パラリンピアン等の講演や授業、パラスポーツ体験会の実施	地域 dX	●	●	●	●	●
114	スポーツ・文化振興課	人の心	馬術振興事業	パラ馬術の周知 ホースセラピーの開催（教育、福祉、高齢?）	パラ馬術選手による授業 ホースセラピーの開催	地域 dX	●	●	●	●	●
115	スポーツ・文化振興課	社会基盤	施設設備のユニバーサル化	スポーツ振興施設の整備充実	施設のユニバーサルデザイン化 利用者（国際化、高齢者や障害のある人）の視点に立ったわかりやすい公共サイン（ユニバーサルデザイン）の検討	地域 dX	●	●	●	●	●
116	スポーツ・文化振興課	社会の制度	共生社会理解を促進するスポーツ活動への支援	ユニバーサルスポーツの普及活動の支援	ユニバーサルスポーツ普及活動への補助金交付	地域 dX	○	○	●	●	●
117	スポーツ・文化振興課	社会の制度	共生社会理解を促進するスポーツ活動への支援	真庭スポーツ振興財団の育成	市民のスポーツ施設の中核組織として誰でも参加できる場を提供する	地域 dX	●	●	●	●	●
118	福祉課	社会基盤	障がい者児発達発育センター事業	わかりやすい相談体制、早期発見早期療育、切れ目ない一貫した支援の提供	臨床心理士の常駐、発達支援コーディネーターの配置による相談支援体制の充実 発達支援教室療育支援の充実 関係機関等との調整会議の開催、関係者のスキルアップのための研修などの開催による連携強化	行政 dX	○ ●【一部実施】	○ ●【一部実施】	○ ●【一部実施】	○ ●【一部実施】	●
119	福祉課	社会基盤	緊急時等における受入れ体制の確保	障がいのある人の地域生活の支援拠点となる機能の整備と充実	地域生活支援拠点機能の面的な整備	地域 dX	○	○	●	●	●
120	福祉課	社会基盤	相談支援体制の充実	発達や発育に困りを抱える人やその家族が抱える様々な問題を解決できる機能の充実	基幹相談支援センター機能の設置	行政 dX	○	○	○	●	●
121	福祉課	社会の制度	相談支援体制の充実	属性や世代を問わず包括的に相談支援を行える体制の整備	重層的支援体制の整備	地域 dX	○	○ ●【一部実施】	●	●	●

共生社会+dX推進アクションプラン 事業一覧

● 実施
○ 準備・検討

番号	課	取組み分野	事業名	事業内容	概要	dX	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
122	福祉課	人の心	手話言語推進事業	手話言語の普及、理解促進	市民向け手話言語普及教室、市職員向けの手話講座の開催 手話動画の作成配信等	地域 dX	●	●	●	●	●
123	福祉課	人の行動	自発的活動支援事業	心のバリアフリーの推進、共生社会の実現に向けた、障がい者等、その家族、地域住民等による地域における自発的な活動を支援	地域における災害対策心のバリアフリー推進に係る研修会等の開催支援	地域 dX	●	●	●	●	●
124	福祉課	人の行動	意思疎通支援者の養成	聴覚障害者等に手話通訳、要約筆記などを行える人材の養成	手話や要約筆記に係る団体への支援、各種養成講座の開催	地域 dX	●	●	●	●	●
125	福祉課	社会の制度	障がい者の活躍機会の拡大	中小企業、農業者等へ障がいへの理解促進及び障がい者の活躍機会の拡大について周知啓発	中小企業や農業者を対象としたセミナーや相談会の実施、「ジョブコーチ」の育成支援	経済 dX	●	●	●	●	●
126	福祉課	社会の制度	生活困窮者の自立支援	生活困窮者の自立に向けた談支援機能の充実	関係機関との連携強化、相談員のスキルアップなどによる複雑困難事例に対応できる体制づくり	行政 dX	●	●	●	●	●
127	健康推進課	人の行動	感染症予防対策の充実	健康を維持していくための取組み	感染症の正しい知識の普及理解へつなげるための周知啓発 関係資料のユニバーサルフォント化	地域 dX	●	●	●	●	●
128	健康推進課	社会の制度	子どもを産み育てやすい環境作り	関係資料のユニバーサル化 面接時の多言語対応 オンライン相談	親子（母子）健康手帳の多言語対応 翻訳機器による面接の実施 オンラインでの相談情報提供の実施 やさしい日本語による資料提供	行政 dX	●	●	●	●	●
129	健康推進課	社会の制度	関係資料のユニバーサル化	外国人ママの支援 問診票のユニバーサル化	エジバラ産後うつ問診票等の多言語対応の実施 やさしい日本語による情報提示	行政 dX	○	○	●	●	●
130	健康推進課	人の行動	専門職の資質向上	専門職のスキルアップ	発達障害児等の早期発見早期支援のための研修会参加	行政 dX	●	●	●	●	●
131	健康推進課	社会の制度	聴覚障害の早期発見早期治療	障害の理解と発達支援	聴覚障害を早期に見出し、適切な支援へのつなぎと理解をすすめる、児の発達を促す	行政 dX	●	●	●	●	●
132	健康推進課	社会の制度	不妊不育治療の理解促進	生殖専門員による個別相談会研修会の開催	研修会や個別相談会の開催により、広く正しい知識の普及に務める	行政 dX	○	●	●	●	●
133	健康推進課	社会の制度	妊孕性温存治療の理解促進	生殖専門員による個別相談会研修会の開催	研修会や個別相談会の開催により、広く正しい知識の普及に務める	行政 dX	○	●	●	●	●
134	健康推進課	社会の制度	心の健康づくり	誰もが生活しやすい環境づくり	こころの健康づくりに関する正しい知識や情報及び相談窓口の周知	地域 dX	●	●	●	●	●
135	健康推進課	社会の制度	自殺予防対策強化	誰もが取り残されることのない地域社会の環境づくり	地域で見守り声かけができるための正しい知識の普及啓発	地域 dX	●	●	●	●	●
136	子育て支援課	人の行動	ひとり親家庭の自立支援	ひとり親家庭の支援	関係機関との連携強化に向けた取り組み 支援員のスキルアップ研修	地域 dX	○	○	●	●	●
137	子育て支援課	人の行動	相談支援体制の充実	虐待防止の取り組みの強化	要保護児童対策地域協議会への参加機関との情報共有の仕組みづくり 拠点設置による相談窓口の充実 広報等による虐待防止の周知	地域 dX	○	●	●	●	●
138	子育て支援課	人の行動	相談支援体制の充実	虐待防止の取り組みの強化	要保護児童対策地域協議会への参加機関との情報共有の仕組みづくり 拠点設置による相談窓口の充実 広報等による虐待防止の周知	地域 dX	○	●	●	●	●
139	子育て支援課	社会の制度	相談支援体制の充実	要保護児童対策地域協議会に関すること（代表者会議実務者会議ケース会議）	要保護児童対策地域協議会に関すること（代表者会議実務者会議ケース会議）	地域 dX	○	●	●	●	●
140	子育て支援課	社会の制度	相談支援体制の充実	子ども家庭総合支援拠点体制整備に関すること	子ども家庭総合支援拠点体制整備に関すること	地域 dX	●	●	●	●	●
141	子育て支援課	社会の制度	病児保育事業の充実	ひとり親家庭、女性等が働きやすい環境づくり	病児保育実施事業所増に向けた取り組み	経済 dX	○	●	●	●	●
142	子育て支援課	人の行動	相談支援体制の充実	子どもの貧困にかかる気づきと見守り	拠点設置及び拠点職員のスキルアップによる相談窓口の充実 子どもの貧困にかかる調査の実施	地域 dX	○	○	●	●	●
143	子育て支援課	社会の制度	子どもの居場所の確保	共生社会を担う人づくり 施設のバリアフリー化	放課後児童支援員、指導員への障がいのある子ども等の正しい理解や対応研修 新たな施設整備におけるバリアフリー化の導入	経済 dX	●	●	●	●	●
144	子育て支援課	社会の制度	相談支援体制の充実	共生社会を担う人づくり	つどいの広場スタッフへの障がいのある子ども等の正しい理解や対応研修	地域 dX	○	●	●	●	●
145	子育て支援課	社会基盤	子どもの居場所の確保	子育て世代の身近な集いの場の提供	子育て世代が地域から孤立しないように、車がなくとも容易にアクセスできる身近なところに集いの場を設置します。	地域 dX	○	○	○	○	●
146	子育て支援課	社会の制度	専門職の資質向上	共生社会を担う人づくり	保育教諭職の処遇改善に向けた検討	行政 dX	●	●	●	●	●
147	子育て支援課	人の行動	幼児教育環境の充実	共生社会を担う人づくり	保育教諭職の処遇改善に向けた検討	行政 dX	●	●	●	●	●

共生社会+ d X推進アクションプラン 事業一覧

● 実施
○ 準備・検討

番号	課	取組み分野	事業名	事業内容	概要	d X	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
148	子育て支援課	人の行動	幼児教育環境の充実	共生社会を担う人づくり	奨学金返済に対する補助	地域 d X	●	●	●	●	●
149	子育て支援課	社会基盤	幼児教育環境の充実	ひとり親家庭、女性等が働きやすい環境づくり	園における受け皿の充実の検討 医療的ケア児の受け入れができる環境の整備	経済 d X	●	●	●	●	●
150	子育て支援課	社会基盤	幼児教育環境の充実	待機児童対策に関する事	待機児童対策に関する事	経済 d X	●	●	●	●	●
151	子育て支援課	人の行動	幼児教育環境の充実	就学前教育と学校教育の接続	就学前教育において、子どもの特性に気づき、その特性を学校教育につなげていけるような仕組みづくりの強化	地域 d X	●	●	●	●	●
152	高齢者支援課	人の行動	地域の集いの場の推進	健康づくり、介護予防や交流ができる「集いの場」の推進	年齢を問わず、交流、生きがい活動、介護予防健康増進の活動ができる「集いの場」、社会福祉協議会と協働して市内に拡充	地域 d X	●	●	●	●	●
153	高齢者支援課	社会の制度	相談支援体制の充実	重層的支援体制整備事業での実施	子供から高齢者、障がい者等の相談窓口の一本化を検討	地域 d X	○	○	●	●	●
154	高齢者支援課	社会の制度	相談支援体制の充実	重層的支援体制整備事業での実施	子供から高齢者、障がい者等の相談窓口の一本化を検討	地域 d X	○	○	●	●	●
155	高齢者支援課	社会の制度	中核機関の設置	成年後見制度に係る「中核機関」の設置	成年後見制度に関する相談窓口を一本化し、高齢者、障がい者等必要な人が相談しやすい体制を整備する	地域 d X	○	○	●	●	●
156	高齢者支援課	社会基盤	地域包括ケアシステムの構築	「集いの場」の推進 地域の生活支援体制の整備	地域の居場所づくり、地域で助け合う仕組みづくり	地域 d X	●	●	●	●	●
157	高齢者支援課	社会基盤	在宅医療介護連携の推進	在宅療養の推進	医療介護が必要な人が安心して在宅生活ができるように、医療介護の連携を推進する	地域 d X	●	●	●	●	●
158	高齢者支援課	社会基盤	認知症カフェ	認知症の人及び家族の居場所づくり	認知症になってからも安心して出かけることができる場所、家族がほっとできる場所づくり	地域 d X	●	●	●	●	●
159	高齢者支援課	人の心	認知症サポーター養成講座	認知症キャラバンメイトによる認知症サポーターの養成	認知症になってからも安心して暮らせる地域づくりのため、認知症の正しい知識を普及し、地域の見守り支援体制を強化する	地域 d X	●	●	●	●	●
160	高齢者支援課	社会基盤	見守りネットワーク「まにわのわ」	見守りネットワークの強化	「まにわのわ」協力事業所の拡充 認知症等による行方不明者を早期に安全に発見できるしくみの拡充	地域 d X	●	●	●	●	●
161	産業政策課	人の行動	民間施設における配慮を要する人の受入体制の充実	民間施設における配慮を要する人の受入体制の充実	多くの人が集まる商業施設や娯楽施設、飲食店等のあらゆる民間施設において、障がいのあることのみを理由に不当な取り扱いがされず、補助犬の同伴が認められるなど、配慮を要する人が利用しやすい体制を整えます。	地域 d X	○	●	●	●	●
162	産業政策課	人の心	自然環境と調和した社会	自然再生協議会の設置 自然再生実施計画を策定	地域循環共生圏の考えを取り入れて、循環型社会の形成に取り組む 国の自然再生協議会の仕組みを活用し、関係各所と連携した自然再生実施計画を策定し、自然環境と調和した持続可能な社会の構築を目指す。	地域 d X	○	○	●	●	●
163	産業政策課	人の行動	自然環境と調和した社会	GREENableHIRUZEN 関連事業	モノの付加価値を無理やり上げてブランド化するのではなく、人と自然環境にとって持続可能な開発を探索し、地域振興に関する思想や取組みを表す、コミュニティブランドとして「GREENable」立上げ。 GREENableHIRUZENの施設の活用と併せて、GREENableにふさわしい産品開発販売など新たな産業展開を進め、さらに地域振興やまちづくりなどソフト面の取り組みも含めた自然と共生する真庭のイメージを高めて、ブランド力を上げていきます。	経済 d X	○	○	●	●	●
164	産業政策課	社会基盤	自然環境と調和した社会	低環境負荷の観光事業づくり	低環境負荷の移動手段である自転車文化の推進 タンDEM自転車の活用 VRを使用した体験 見ること以外の四感（聴く、香る、味わう、触る）が可能な状態を取り入れることを検討する	経済 d X	○	○	●	●	●
165	産業政策課	社会基盤	起業支援事業	だれもが安心して働くことができる環境作りを進める。	創業支援の際にだれでも安心して創業できるための支援を検討する。 創業後は多文化共生コーディネータ事業を活用することで、多文化共生社会の実現に向けた事業費の一部を助成する。	経済 d X	●	●	●	●	●
166	産業政策課	社会基盤	企業内保育所推進事業	子育て世代の就業環境の充実	企業等が設置する保育園に企業外の子供を受け入れる者に対し補助を行い受け入れを促すことで、近場に子どもを預け安心して働くことができる環境を整える。	経済 d X	●	●	●	●	●
167	産業政策課	社会基盤	企業内保育所推進事業	女性への多様な就労支援の実施	働きたい女性が仕事と子育て介護等の二者択一を迫られることなく働き続け、能力を十分に発揮できるよう、キャリア形成や再就職のための支援等、女性の希望に応じた働き方の支援を行います。	経済 d X	○	○	●	●	●

共生社会+ d X推進アクションプラン 事業一覧

● 実施
○ 準備・検討

番号	課	取組み分野	事業名	事業内容	概要	d X	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
168	産業政策課	社会基盤	多文化共生コーディネータ事業	だれもが安心して働くことができる環境作りを進める。	企業立地後には共生社会の実現に向け、多文化共生コーディネータ事業の活用を推進し、事業費の一部を助成する。	経済 d X	●	●	●	●	●
169	産業政策課	社会基盤	多文化共生コーディネータ事業	コーディネータ事業	企業に多文化共生コーディネータ事業を活用してもらい、様々な方が安心して働ける職場環境を整え、人材確保に努めてもらう。激励会等参加に配慮を必要とする方の参加しやすい方法を検討する。	経済 d X	●	●	●	●	●
170	産業政策課	社会基盤	多文化共生コーディネータ事業	共生の就業環境整備支援	多文化共生社会実現に向けた従業員向け研修会の開催やセミナー参加に対して、事業費の一部を助成する。市内事業所が、インターンシップの受け入れを実施した場合に、事業費の補助を行う。	経済 d X	○	●	●	●	●
171	産業政策課	社会基盤	産業プラットフォーム事業	行政DX基盤による官民データベース（kintone）を活用した産業プラットフォームの構築	市内事業者のニーズと行政DXの観点から、補助金の申請をテーマにプラットフォームを構築する。補助金の申請をスムーズにすることで利用促進を図るとともに、必要な情報として事業者データを入力してもらうことで、データの蓄積を図る。また、補助金の効果検証も行う。	経済 d X	●	●	●	●	●
172	農業振興課	社会の制度	農福連携の促進	農福連携	農福連携に関する理解啓発	経済 d X	●	●	●	●	●
173	農業振興課	社会の制度	農福連携の促進	農福連携	農業生産者と福祉事業所とのマッチング支援	経済 d X	●	●	●	●	●
174	農業振興課	社会基盤	スマート農業の推進	スマート農業機械の導入経費補助や研修会の実施	農業における高齢化や担い手不足等による労力不足や農作業の省力化といった課題解決の手段の一つとして、機械の導入補助や研修会などによりスマート農業の普及推進を図る。	経済 d X	●	●	●	●	●
175	都市住宅課	社会基盤	わかりやすい案内表示	わかりやすい案内標識等の設置	道路等の案内サインを来訪者や外国人にも分かりやすくします。	地域 d X	●	●	●	●	●
176	建築営繕課	社会基盤	公共施設のユニバーサル化の推進	公共施設のバリアフリー化とユニバーサルデザインの推進	集客施設、観光施設、公園、市庁舎、教育施設、その他公共施設の建築物について、誰もが快適に使えるユニバーサルデザインの考え方に基づいて整備を進めます。	地域 d X	○	○ ●段階的に実施	●段階的に実施	●段階的に実施	●段階的に実施
177	建設課	社会基盤	道路橋梁河川維持補修	安全で快適な歩行空間づくり	スマートフォン等による市民からの異常の通報受付を行い、異常箇所の早期発見、早期対応を行う。スマートフォンのGPSから現場の位置をプロットし、現場写真等の記録保存、情報収集を行い、改善必要箇所の確実な対応を図る道路パトロールのデータベース化整備。	地域 d X	○	○ ●段階的に実施	●段階的に実施	●段階的に実施	●段階的に実施
178	教育総務課	社会の制度	教育委員会の会議及び教育委員の報酬等に関すること。	委員会等のオンライン開催に向けた環境整備	育児、介護等に関わる委員の活動しやすい環境をつくる	行政 d X	○	●	●	●	●
179	学校教育課	人の心	教職員の人権意識の向上	教職員の人権意識の高揚	校長会、教頭会での研修及び各校での研修により共生社会の視点を含めた様々な人権問題についての理解と認識を深める。	地域 d X	●	●	●	●	●
180	学校教育課	人の心	インクルーシブ教育の推進	インクルーシブ教育の視点を生かした授業づくり実践研究	支援の必要な子どもへの指導の在り方について各校での研修を深め、特別支援教育の充実を図る。	地域 d X	●	●	●	●	●
181	学校教育課	人の心	特別支援教育の充実	特別支援教育担当者研修会等	障がいのある子どもが、学校、幼稚園、保育園、認定こども園での生活を安全に安心して送ることができる支援体制や適切な支援のあり方について研修を行う。	地域 d X	●	●	●	●	●
182	学校教育課	人の心	特別支援教育の充実	巡回相談	通級指導教室担当教員が要請のあった学校を訪問し、支援等についてアドバイスを行う。	地域 d X	●	●	●	●	●
183	学校教育課	社会の制度	子どものICTを使った学習支援	GIGAスクール	GIGAスクール構想の推進により、多様な子どもたちひとりひとりに個別最適化された学びや創造性を育む学に取り組めます。	地域 d X	●	●	●	●	●
184	生涯学習課	社会基盤	共生社会理解を促進する活動支援	多様なメンバーによる会議開催	障がい者団体の方の会議への参画等	行政 d X	○	●	●	●	●
185	生涯学習課	人の心	共生社会理解を促進する活動支援	図書館公民館等における啓発	市民に共生社会の理解を広げるため、幅広い年齢の市民が集まる図書館公民館等において、共生社会に関する図書や資料の展示や講座等を開催します。	地域 d X	○	●	●	●	●
186	生涯学習課	人の心	共生社会理解を促進する活動支援	共生社会について学び、実践できる共生の意識の形成	様々な個性を持つすべての人が、お互いに分り合い、支え合えるよう、学校教育、社会教育その他の教育等の場において、市民及び事業者が共生社会について学び、実践できるよう意識の形成を行う。	地域 d X	○	●	●	●	●
187	生涯学習課	社会の制度	共生社会理解を促進する活動支援	共生社会推進基本方針の反映	人権教育啓発指針への反映	地域 d X	○	●	●	●	●
188	生涯学習課	人の心	共生社会理解を促進する活動支援	子どもの人権意識の高揚	子どもが、様々な人権問題に関する学習をすることにより、自尊心を育み、人権に関する理解と人権感覚を身に付けられるように努めます。	地域 d X	○	●	●	●	●

共生社会+ d X推進アクションプラン 事業一覧

● 実施
○ 準備・検討

番号	課	取組み分野	事業名	事業内容	概要	d X	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
189	生涯学習課	人の心	共生社会理解を促進する活動支援	学校家庭地域における教育の推進	P T Aなどの人権問題研修等を通じて、様々な人権問題についての理解と認識を深め、互いの人権を尊重し支え合うことのできる人づくりを進めます。	地域 d X	○	●	●	●	●
190	生涯学習課	人の心	共生社会理解を促進する活動	職員スキルアップ	共生社会に関連する研修への積極的な参加の検討	行政 d X	●	●	●	●	●
191	生涯学習課	社会の制度	すべての子どもの学習支援	多様な主体と連携した学習支援の充実	外国人児童生徒などの日本語の習得が必要な子どもに対し、日本語指導の充実を行います。また、生活困窮世帯に対し学習支援を実施します。	地域 d X	○	●	●	●	●
192	生涯学習課	人の心	社会格差の是正	放課後等の活動に関すること 学校支援地域組織に関すること 家庭教育に関すること だれでも参加しやすい環境づくり	参加費無料による貧困など格差の是正	地域 d X	○	●	●	●	●
193	生涯学習課	社会の制度	ユニバーサル化	手続きの合理化	利用申込用紙からの性別欄削除の検討	行政 d X	●	●	●	●	●
194	生涯学習課	社会の制度	ユニバーサル化	図書館サービスの充実	自ら図書館に足を運ぶことができない人のために、来館しなくても利用できるサービスの検討。	地域 d X	○	○	●	●	●
195	生涯学習課	人の心	共生社会理解を促進する活動	資料の充実、環境整備、流通システム	ハートフルブック、朗読CDの収集 カウンターへの「翻訳機」の配備 サビ工図書館への登録 郵送宅配サービス（障がい者等条件により図書の配送）	地域 d X	○	○	●	●	●
196	生涯学習課	人の行動	共生社会理解を促進する活動	資料の整備	外国語資料の収集	行政 d X	○	●	●	●	●
197	生涯学習課	人の心	共生社会理解を促進する活動	図書館公民館等における啓発	市民に共生社会の理解を広げるため、幅広い年齢の市民が集まる図書館公民館等において、共生社会に関する図書や資料の展示や講座等を開催します。	地域 d X	●	●	●	●	●
198	生涯学習課	人の心	共生社会理解を促進する活動	資料の整備	バリアフリー映画の収集上映 AV資料に点字付与等の検討	地域 d X	●	●	●	●	●
199	生涯学習課	人の心	共生社会理解を促進する活動	共生社会啓発に関する展示	共生社会に関連する図書の展示（啓発） 多様な人々による「対話の場づくり」 イベント時の手話通訳要約筆記の付与 イベント開催時間を「まにわくん」の運行に合わせる検討	地域 d X	●	●	●	●	●
200	生涯学習課	人の心	共生社会理解を促進する活動	ボランティアのスキルアップ	発達障害児等への読み聞かせに役立つスキル取得などの研修機会を図書館ボランティアへ提供。	地域 d X	●	●	●	●	●
201	生涯学習課	社会の制度	ユニバーサル化	交通弱者の利用充実	定期的に巡回場所を検討し、交通弱者が資料を借りやすくする	地域 d X	○	○	●	●	●
202	生涯学習課	社会の制度	ユニバーサル化	情報発信啓発のユニバーサル化	「LL版図書館利用案内」の作成の検討 図書館HPのバリアフリー化（読み上げ、色変更など）の検討 ウェブアクセシビリティ（JISX 8 3 4 1 - 3）チェック実施	地域 d X	○	●	●	●	●
203	議会事務局	人の行動	情報伝達のスムーズ化	本会議等傍聴者へ手話通訳者の確保 磁気ループ補聴システム受信機の貸出	聴覚障がいの方が傍聴される場合、申請により傍聴席に手話通訳者を確保 補聴器人工内耳を装着されている方に音声はっきり聞こえる装置（磁気ループ補聴システム受信機）を貸出	行政 d X	●	●	●	●	●
204	議会事務局	社会の制度	情報伝達のスムーズ化	委員会等（本会議を除く）傍聴者資料のタブレット格納	会議資料を閲覧しやすくするため、文字の拡大可能なタブレットを貸出（あわせてペーパーレス化を図る）	行政 d X	○	●	●	●	●
205	議会事務局	人の行動	会議等のオンライン化	災害時や委員会等（本会議以外）のオンライン会議開催に向けた環境整備	災害時や育児、介護等に関わる議員の活動しやすい環境をつくる	行政 d X	○	●	●	●	●
206	会計課	人の心	債権者宛て支払通知文のユニバーサル化	通知文のユニバーサル化	債権者宛て支払通知書（希望者のみ）ユニバーサルフォント化	行政 d X	○	●	●	●	●
207	消防本部	人の行動	地域の安全安心	わかりやすい言葉を用いたSNSでの情報発信	やさしい日本語、ユニバーサルフォントを活用しての情報発信を検討	行政 d X	●	●	●	●	●
208	消防本部	社会の制度	救急対応の充実	コミュニケーションボードの活用	救急車に外国人対応用のコミュニケーションボードを積載し、日本語が話せなくても適切なコミュニケーションが図れるよう検討	行政 d X	●	●	●	●	●
209	消防本部	人の行動	救急対応の充実	FAX119、ネット119、多言語対応専用電話の活用	視覚障害者、聴覚障害者、外国人が適切に119番通報できるよう、様々なツールの活用	行政 d X	●	●	●	●	●
210	消防本部	人の行動	応急手当の充実	わかりやすい救急法指導の実施	誰にでも理解しやすく、また行動が起こせるよう、実技指導だけでなく、映像やICTを活用した救急法指導の実施を検討	地域 d X	●	●	●	●	●